

めぐみの子

8月号



2026年7月21日

深川めぐみ幼稚園

幼稚園ウェブサイト <https://www.fukagawamegumikg.net>
メールアドレス fukagawamegumi@yahoo.co.jp

自然と出会い、地域と出会い、人と出会う夏

園長 白井真樹

夏休みを迎えます。子どもたちとご家族のみなさんにとって、祝福豊かな夏となりますよう、お祈りいたします。

預かり保育で、夏休み中も幼稚園に来る子どもたちもいますが、ご家庭で過ごす時間が多くなるお子さんたちもいます。ご家庭での時間が、テレビやゲームばかりになってしまうこともあるかもしれません。もちろん、それも子どもたちにとって楽しい時間ではありますが、長時間になり過ぎると、お子さんの心や脳の発達、また視力などへの影響も心配されます。

ご家族のみなさんにとっては少し大変かもしれませんが、ぜひお休みの間、お子さんと一緒に散歩をしたり、公園へ出かけたり、買い物に行ったりしてみてください。また、旅行や海・山・川で自然に触れたり、市や町内の行事に参加したり、おじいちゃん・おばあちゃんのお家を訪ねたり、いとこやお友だちと遊んだりする機会もあることでしょう。絵本を読んであげたり、一緒に何かを作ったりする時間も、子どもたちの世界を少しずつ広げていく、かけがえのない時間になることでしょう。

長期休みは、子どもたちの視野と世界を広げる絶好の機会です。ご家族と一緒にさまざまな経験を重ねる中で、子どもたちは自然と出会い、地域と出会い、人と出会います。そうした一つ一つの出会いは、子どもたちの心を豊かにし、身体を育み、生きる力の土台となっていくことでしょう。

帽子と水筒を忘れず、日射病や熱中症に十分気を付けながら、安全で楽しい夏休みをお過ごしください。

2学期の始業日、「〇〇へ行ったんだよ」「△△したんだよ」「□□さんに会ったんだよ」と、子どもたちが目を輝かせながら話してくれることを、今から楽しみにしています。

+++++
8月の聖書のみことば 詩編37章37節

「平和な人には未来がある」

チャプレン（牧師）西川 真人

大人は子どもたちに、「人に優しくしましょう」「仲良くしましょう」と教えます。しかし、毎日の生活の中では、思いどおりにならないことや、人と比べてしまうこと、不安や焦りを感じることも少なくありません。そのような心の中では、本当の意味で「平和」でいることは簡単ではないでしょう。また、子どもたちにそう教えている私たち大人自身も本当に「平和」でいるのでしょうか。そのことを省みないとなりません。

聖書の言う「平和な人」とは「争いをしない人」というだけではありません。この詩編の「平和な人には未来がある」の次には「主に逆らう者の未来は断たれる」と記されていますから、この「平和な人」とは、神様に信頼し、自分の心が神様によって支えられている人のことをあらわしています。神と共に生きる人は、周りの人にも穏やかに接し、困難な出来事の中でも希望を失わずに歩むことができるのです。

また、ここでいう「未来」とは、ただ「将来うまくいく」という意味ではありません。神様がその人の歩みを見守り、希望へと導いてくださるという約束です。目の前の出来事だけで人生が決まるのではなく、神様がその先にも道を備えてくださる。その安心が私たちの心に平和を与えてくれるのです。

子育てをしていると、「この育て方でよいのだろうか」「子どもの将来は大丈夫だろうか」と心配になることがあるかもしれません。けれども、子どもの未来を支えてくださるのは、親の力だけではありません。神様は子どもたち一人ひとりを愛し、その成長を見守ってくださいます。

幼稚園は、子どもたちが知識だけでなく、人を思いやる心や感謝する心を育んでいく場所でもあります。神様の愛を知り、その愛に支えられて歩むとき、私たちの心には平和が生まれます。そして、その平和は家庭へ、子どもたちへと受け継がれていきます。

8月は特に「平和」について考えたい季節です。単に「戦争がない」ことは真の平和ではありません。神様と共に・隣人と共に生き、未来を創っていくことが「平和」です。

「平和な人には未来がある。」この聖書の言葉を心に留めながら、神様が今日もご家庭を守り、お子さまの歩みを豊かに導いてくださることを願っています。

